

(1) 昭和62年 8 月10日

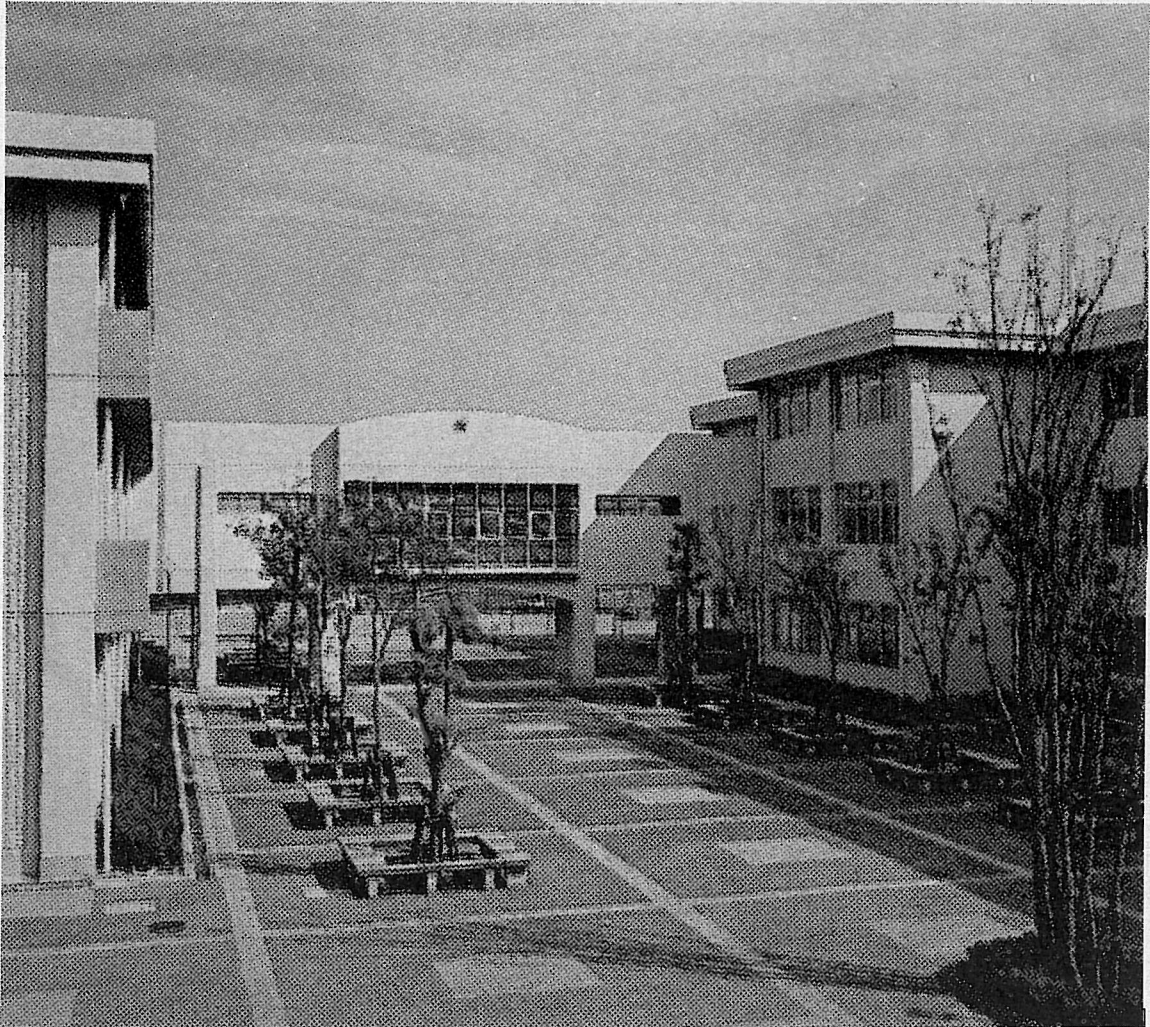
学 友 会

学 友 会

会
報

第6号

発行 中日本自動車短期大学学友会事務局
〒505 岐阜県加茂郡坂祝町深堂1301 営<0574> 26-7121



祝 開学20周年

会報発刊にあたって



中日本自動車短期大学
学友会会長

本 田 紳 基

本年も会報を発刊する時期となりました。会員のみならず方におかれましては、残暑厳しき折り、増々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて昭和六十一年度の事業計画も順調に実施されております。

母校においては、日本で最初に開設された車体整備コースも確実に軌道に乗り、また一昨年開設された時代のニーズにマッチした電子機械コースも大変好評と聞いて大変喜ばしく思います。また入学生志願者数についても、昨年にはまして増加の傾向にあり、現在我母校が社会における重要な地位を築きつつあることと思われ大変喜ばしいかぎりです。

母校も本年は設立二十周年を迎えているわけですが、学園本部を中心にして、学長・理事・教職員が丸となって準備が着々と取進

められていることと聞いております。学友会もこの記念すべき事業に向けて、大学側との共同事業と併せて、学友会独自の事業の準備を取進めています。

昨年度の会報にも述べましたようにここに当面の学友会の重要事業は依然として支部の充実にあるわけですが順調に進められています。

その中で念願である、岐阜・愛知・三重県下は現在支部設立準備委員会が設立され、愛知(尾張・三河)岐阜(西濃・東濃)三重(津・四日市及び伊勢)と二分割の支部として、現在設立準備中です。また兵庫・静岡(二支部)長野(松本・長野)北陸(二支部)山梨・神奈川ならびに九州・四国地区についても学友会組織をあげて支援・協力して行くつもりでありますので関係諸兄の一層の奮起並びにご協力をよろしくお願い致します。

します。

また、これまでに多数の海外留学生が卒業され、各々自国の産業の発展のために活躍されておられると思います。そういった人たちの団結及び励ましの意味も込めまして、多数の海外支部の設立を進めねばと考えております。

前述のように母校も本年開学二十周年を迎えているわけですが、O・B諸兄の方々の中には、現在社会的にも認められた地位に就か

雑



中日本自動車短期大学
学 長

中 村 清

学友会会報(第六号)の発行おめでとうございます。

何ごとも、最初は「はづみ」、「成り行き」、「心意気」など何んとかなるものですが、いざこれを継続することとなると、決してなま易しいものではありません。毎号、私は、会報掲載記事の執筆を依頼されるたびごとに、こんなことを考えながら、会報委員会

感

れた方も多数あろうかと思いが、どうか今後とも、母校の発展のため後輩の就職並びに入学希望者の推薦など、母校との結びつきを一層強固なものとして、母校共々増々の発展を念願致します。

最後になりましたが、今回の会報発刊にあたり、多大なるご協力ご援助を賜りました大学関係者並びにO・B諸兄、特に学内在籍のO・B諸兄に対して心より厚く御礼申し上げます。

さて私は、毎年(入学式)の式辞の中で「技術者たる前に人間たれ」、「学問と技術を両輪とする人間形成」と言う建学の精神を繰り返し述べてきました。

そこで、これからこのことについて比喩をまじえながら、昔から言われている(参)に、言及してみたいと思います。

『軍門に君命なく、戦場に兄の礼なし。』

これは、戦場では、主君の命令にも年長者に対する礼儀にもこだわってはいられない場合があることを言ったものです。

現代は過保護・過干渉の風潮が濃厚なるため、TPO(時・所・場合)に適切に対応する自主性が希薄になつた者が増えていると言われています。一時が万事というわけではありませんが、日常の仕事や生活の中で、この戦場に喩えられるような時に、このことを是非思い出していだきたいと思ひます。

『貴人の前には窮を言わず、富国の前には貧を説かず。』これは、身分が高く豊かな人に、貧窮の苦しみを説明しても、理解してもらえない、境遇の異なる者に話しても、それぞれの立場は理

解しがたいということをやったものです。

これを単なる愚痴として受けとめられるだけの場合は、自ら人間の性の減点を招くことになりかねません。

『朝に道を聞かば、夕べに死すとも可なり。』

朝、人間としての生きべき道を聞いて会得することができたならば、夕方死んでも心残りはないと言う道(真理)の重要なことを強調した句です。

つまり、これらは極論的発言ではありますが、そのいずれもが、人間形成、人間性向上の要点を端的に表現しており、本学の建学の精神である「人間」を考える上でよく味わっていただきたい「重み」のある言葉であると思考し、ご紹介しました。

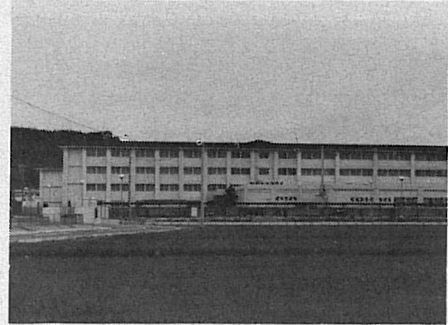
二十周年を 向えて



中日本自動車短期大学
局長 杉浦 慎宣

学友会報第五号の紙面で、母校のキャンパス計画の概要をご披露致しましたが、その後も、同計画は順調に予定通りのスケジュール

で進展しています。



今年は、十月十六日から十九日まで、開学二十周年の記念式典と恒例の大学祭とが、盛沢山なプログラムの下に連続して展開されることになっていますので、大幅にリフレッシュされ、面目を一新したキャンパスを、この機会に、是非ご覧賜りたいと思っています。

……お馴染みの国道二十一号線勝山には、旧ボーリング場前に勝山バイパス交差点が新設されました。全長八八〇メートル、幅員七・五メートル、片側一車線の道路が、JR高山線を跨線橋で横断し、小島米穀肥料店の所で県道坂祝関線と接続され、母校への交通の流れは、随分スムーズになりました。県道坂祝関線を追分三叉路で右

折し、同富加坂祝線に入ると間もなく、左手に鉄筋コンクリート四階建の新しいビルが見えますが、これが学生寄宿舎「敬愛寮」です。本年三月オープン、冷暖房完備シングル(部屋代月二・五万円)、ツイン(同二万円)各五十室、机や書棚はもちろん、ベッドや物入れも造り付け、寝具料も、毎週一回のシーツ、掛布、枕カバーの洗濯サービスを含めて月額千円でOKと言うニューシステムの豪華版です。

ご存知一麦社の前を左折、大学に近づくと右手に登場するのが総合グラウンドです。野球、サッカー、陸上競技などの多目的使用を目指したもので、駐車場や観覧席まで備えた本格派。あとはナイター照明設備の付設が期待されるところです。

四十年代、五十年代の重厚長大時代を象徴していたかのような、あの巨大な鉄骨アーチの正門は姿を消し、近代的な公園を思わせる洒落た石積み造りモダンゲートの誕生です。母校を訪問されるすべての皆さんが、時代の推移をお感じになられることでしょう。教育棟も鉄筋コンクリート造り三階建・二棟を新築。全館冷暖房

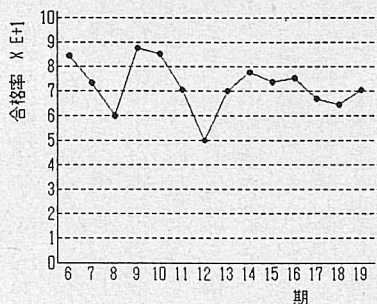
全教室が視聴覚教育設備対応型、静寂指図特別仕様の机・椅子………すべてが生れ変わりました。実習棟も全面建替工事が進行中で、来年の後期授業開始までには、すべての工事が完了の予定です。総工費二十七億、卒業生諸賢の温いご援助を切望する次第です。



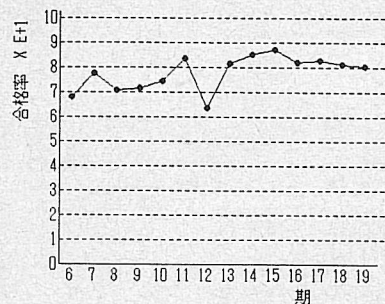
二級整備士合格率

二級整備士資格取得試験には、認定及び検定の両試験制度があります。その内、本学の各卒業年度毎の認定試験の合格者をグラフで示しました。これを見ると、ここ五年間の平均合格率は、ガソリン八十%、ジーゼル七十%台に推移しているようです。

＜ジーゼル合格率の推移＞



＜ガソリン合格率の推移＞



外国人研修生について

大 脇 澄男

本学の国際化が近年特に著しいことは、前号で中村学長が「雑感」の中で言及しておられる。今年度もマレーシアから九名、ケニアから一名の、政府レベルで

の研修生が研修中である。マ国の研修生の特色については前号で紹介したので、今回はケニアからの研修生について触れてみたい。名前はパトリック・N・キアリエ。ジョモケニアタ農工大学の助講師である。彼の勤める大学は八年ほど前に、日本政府の全面協力によって設立された。現在多数の日本人スタッフが現地で指導にあたっている。パトリック氏は教育部に所属し、大学が保有する設備・機器の維持管理を含めて、学生への実技教育を担当している。彼の守備範囲は広範囲に及ぶが得意とする分野はエンジン、自動車整備関係である。彼がはるばる日本までやってきて研修するのは、設立の経緯から、大学の保有する設備・機器の大部分が日本製であることによる。



いずれにしてもはるばるアフリカからやってきてわれらが母校で研修し、その成果をアフリカの地に持ち帰ることを思うと感無量です。

新人類職業志向

就職課 井戸 豊

ケニアと言えばアフリカ、アフリカと言えば政情不安、飢餓といったことを連想しがちですが、ケニアはアフリカでもっとも政治的・経済的に安定している国の一つです。またアフリカと言えば「熱い国」を想像するが、ケニアは東にインド洋を有し、そこから北西の方向に展開しているが内陸部に向うに従って高度が上り、首都ナイ

ロビは極めて気候条件に恵まれたところで、人口の大部分がこの首都周辺に集中している。

職業柄、個人面談や就職資料室

など学生と接する機会も多いが、中には「別に焦らなくても入れる会社はあるから」と楽天的に構えている学生や「ゼエスをやりたい」「芸能界へ入りたい」と夢見る学生に遭遇する。いずれの場合においても、イメージ的思考が強く、非現実的な発想で職業観が構築されているのときかと思えない。これが「新人類」たる発想であろうか。

いずれ彼らが将来、現実とのギャップに直面した時、それをどう総括するのだろうか。ドライに割りつけてクリアできるものでもないと思う。

職業観の多様化に伴ない、彼らにいかに対応するかが、旧人類たる我々の課題である。

沿革

一九七七年四月
学校法人神野学園設立
一九七七年四月
自動車工業科第一回入学式を挙行
一九七八年三月
自動車工業科定員四〇〇人に変更の件、文部大臣より認可される
一九八〇年十月
自動車工業科の卒業生に、運輸大臣より一級自動車の整備士受験資格が認定される
一九八九年三月
自動車工業科第一回卒業式を挙行
一九七〇年四月
併設校中日本航空専門技術学校開校

一九七一年月
自動車工業科定員六〇〇人に変更の件、文部大臣より認可される
一九七二年四月
併設国際医療総合技術学院開校
一九八〇年九月
新校舎完成
一九八二年四月
第五回開学記念式を迎える
開学十五周年記念式典を挙行
一九八三年月
併設国際医療総合技術学院「岐阜医療技術短期大学」に昇格
一九八三年九月
敬愛寮完成
一九八四年四月
車体整備コース開設
一九八五年四月
電子機械コース開設
一九八六年九月
新・教育棟完成
一九八七年三月
第十九回卒業式を挙行
新・敬愛寮完成
一九八七年四月
第二十回入学式を挙行
第二十回開学記念式を迎える

近況

十六期生 平田 靖典

私に、卒業してから今日までに思ったことを書いてほしいという依頼があったとき、私の体験談を皆さんに読んでいただいて、もし何かの形でお役に立てたらと思い、引き受けさせていただきました。中日本を卒業後、日産サニーに入社。新人と呼ばれる頃は、失敗の

連続でした。例えば、入社してすぐ、中学校や高校の時の同級生と同じ営業所に配属となり、学生時代の時のような調子で話をしていると、古手の先輩がみえて、『平田、いくら同級生でも会社では先輩だ。呼び捨てなどをせず名前にさんをつけて呼べ。』と注意された時には、なぜ先輩は、そのようなことを言うのであろうか。そこまで徹底しなければならぬのであろうかと悩み、用があっても彼らと呼ばずらくて、嫌な思いをしました。私は、中日本に行かなければ、このような嫌な思いをしなくても、同期として彼らと仕事が出来たのにと、勝手なことを、考えた時もありました。しかしそのような時でも皆に話しかけるようにして、出来るだけ明るく振舞う様にしていました。それでもまだ色々いやみを言われたりしたのもうまいいかげん嫌になり、会社を辞めようかなと思いはじめた頃、その同級生の一人が「僕もはじめは色々辛い目にあい嫌だったが、馴れてくるとこの会社もなかなかいいものだ。もう少し続けてみては……。」と言ってくれました。僕は、やっぱり皆、はじめの頃は、この会社の環境になかなか

馴れず苦勞しているのだ。自分だけそのようなめにあっているんじゃないと考え、もう少し続けてみようと思いましたが。これから何人かの新人社員が入ってくるだろうが、この環境にすぐ馴れずに苦勞するであろう。しかし、僕は、出来るだけ相談相手になってやり、早く馴染むことが出来るようにしてやろうと心がけてきました。その甲斐も実って、会社を辞めた今でも皆さんから電話をいただいたり、遊びにきてくれたりもしてもらっています。長い様で短かった三年間でしたけれども、家業を継いだ今になって考えてみますと、今までの色々なことが、勉強になったのではないかと思われれます。失敗しても辛めにあってもそれを肥やしにして、次の困難を乗り越えていけるように努力をして、また、これから人生、苦勞とともに歩んで行こうと思っています。

十六期生 水野 真澄
岐阜県自動車整備振興会教育課にお世話になり、今年で四年目を向かえました。働きながら整備士の資格を目指す人達の講習を主に担当させて頂いています。(一クラス三十〜四十人)

入った当時の頃は、大半が、自分より年上の人で、中には十〜二十才も年の離れた先輩の方も見えました。学歴は中卒から大卒までと幅広く、乗除算のできない人から高等数学、機械工学に長じている人等様々です。それらの人と一緒に一つの教科書を基に取り組んでいますから、色々難しい面もあります。特に年長者や女性には汗を流しながらも、マイクロ・メータ等の測定に取り組んで、ガンバっています。その人達が半年後なんとか全員講習を修了し、認定試験の結果に一喜一憂した姿を見て、やっとこの仕事の重さ、そして楽しさが少しわかってきたように、思えてきました。この仕事を経験してみても、初めて聞く側と聞いてもらう側との違いの大きさを知りながら、同時に自分の勉強不足を反省させてもらう事も出来ました。(今でも自分の勉強不足を、省みる事があります。)まだまだ、未熟な者ですが、今後とも、良き先輩に囲まれながら、更に、多くのことを勉強をして、仕事の方も憶え、多くの諸方の人々よりの信頼を求めて行きたいと思う次第であります。

在 学 生

今回は、現在々々中の女子学生十四名の内、二年生四名に登場してもらい、本学に対する感想、学生生活、将来についてレポートしてみました。



秋野 美貴

私がこの学校に来るまでには色々な事が有った。元々昔から整備士を志望していたけれど中学の担任に「女の整備士なんて聞いた事がない。」と一笑にされてその時はそれで終わってしまったのです。けれど高校に入ってから気持ちちは変らず単車の免許を手に入れたからは尚、一層強く思う様になりました。三年の進路指導の時間に再び私は「整備やりたい。」と言いました。すると今度は中学の時とは全く違う答が返って来たのです。それはN工業短大に大手自動車会社のバックアップ付で入学させると言うものでした。けれどこれは辞退してしまいました。当時どうしても単車関係の仕事をしたかったので辞めてしまったのです。

割と思い込みが強く、単車しか目に入っていなかったのが原因でN工業短大に入る事が出来なくなり私は進学雑誌等で必死に同系統の短大を探し地元からかなり遠いこの中日本自動車短期大学を見つけたのです。

何とか親を説得し入学してはみたものの単車の知識はあっても車の事に関しては無知同然だった私には実習で車の足を引きっぱる事しか出来ず自己嫌悪した事も有りました。

単車の様にうまく行かずジレンマになってしまったりしましたが現在では皆が何をやってるかもやるとわかる様になり、今まで出来なかった部分の単車の故障も直せる様になった時は本当にうれしくてほんの少しですが自信もつきました。

しかし、まだまだ車の事は良くわかっていないので頑張って二級整備士の免許を取りたいと思います。



杉山 さとみ

「こんな学校やめる。」そんな言

葉を一年前の今頃に何度つぶやいたことでしょうか。家が修理業だった為、この学校に進んだものの、授業も普通科出身の私にはわからない事ばかり、しかも同学年の女の子は私を含めて四人だけ。確かに限られた人間と同じ部屋で生活して行くことは、その人を知る上で一番の近道とは思いますが。しかし、自分と同じ考え方をしてくれる人ならすんなりうまくいくものも、女の子が少ないことを知った上で来ているだけあって、各目の個性が強い人ばかりでした。それゆえに、その人の事を間違ったとらえ方をしてしまい、気まずい毎日でした。かと言って、女の子は四人しかいないし、共同生活はしていかなければならないし、一人に起った問題をみんなで話し合っていて、自分の意見ははっきり言うという事で、こんなわだかまりも解決してきました。今思えば「なぜ」と自分で不思議に思う事ばかりですが、一年前は自分なりに必死だったのです。そのかいあって、一生の友を得ることが出来ました。授業もどうにか、ついていけるようになりました。残り少ない学生生活を有意義にすごしたいと思ひます。



畑 田 明 美

私がこの学校に入学したいと思ったのは、車に興味があったからです。又誰よりも車のことをよく知りたいと思ったからです。

しかし私がこの学校に入ることになったのは、両親の反対が強く、入ることは出来ませんでした。もう一つの動機は、将来、整備会社を経営したいということです。これは、私の夢でもあります。この二つの動機で本学に入学しました。

私が本学に入学して一年が過ぎ、今就職を考える時期に入っています。今になってやっと女が男と同じ職をもつのが難しいとわかりました。それでも私はどうしても整備士になりたいと思っています。

これから卒業まで男性に負けぬ位の立派な整備士としての知識と腕を磨き卒業後の国家試験になんとしても合格しなければという気持ちです。

それと残りの少ない学生生活有意義に過ごし悔いのない様にしたいと思っています。



武 藤 康 代

私が本学に入学した動機は二つあります。その一つは、レースをやりたいからです。本当は本学のレーシング部に入りたかったのですが、両親の反対が強く、入ることは出来ませんでした。もう一つの動機は、将来、整備会社を経営したいということです。これは、私の夢でもあります。この二つの動機で本学に入学しました。

しかし、入学してからが大変でした。私は普通科高等学校卒業でしたが、それが女子高でしたので、工業関係はおろか、車に関しても無知だったので授業を聞いていてわからないことが多く、友達に教えてもらいながらなんとかついていくだけで大変でした。

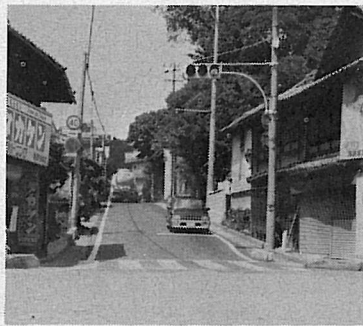
現在は、就職活動に入っています。私は本学に入ると決心した時から、就職はホンダ関係に入りたと思っています。今、ホンダのディーラーを色々探している所です。しかし、ここは入社試験が難しく入れるかどうかは、わかりませんが、運良くサービスで入れた時に、「この子はサービス

は無理だ。」と言われないように、卒業までの残り少ない日々を無駄にしないように、少しでも多くの知識を身に付けたいと思います。

母校周辺の近況

母校も設立満二十周年を迎え、学校周辺やキャンパスもより一層活気に満ちてまいりました。

二十年という歲月の中で多種多

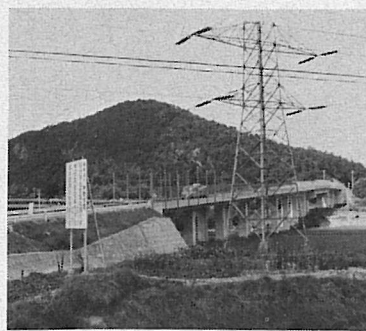


様の変動により学生生活がしやすい環境が出来上がり満足しているしいです。

母校周辺の変化も大きなもので、学生時代通学路として利用した、国道二十一号線と関へ行く道を結ぶ接続点勝山交差点があったことを思い出されることでしょう。

同交差点付近の道は、国道二十一号線の片側一車線から真道に入っ

てまもなくJR高山線の踏切によって、朝夕のラッシュ時にあたり、授業を終えて帰るころになれば渋滞をまぬがれることはできなかつたことと思います。



しかし、交通緩和を図るため昭和六十二年四月六日に勝山バイパスが開通しました。

このバイパスは、全長八百八十メートル幅員七・五メートルの片側一車線歩道はなく、勝山交差点の西約二百八十メートル地点で国道二十一号線と接続され、北へ向かってJR高山線を高架で越え、坂祝一関線の道に合流するようになりました。また建設計画として昭和四十九年から用地買収に入り、十三年をかけて完成にいたり、総事業費は八億三千万円相当の金額がかかったそうです。

このバイパスの完成によって朝

夕の渋滞はなくなり、学校通学にあたって、また一般使用の面においてもよりよく利用することが出来ます。

岡山県支部について

岡山支部長 山脇 健二

母校も開学二十周年を迎え増々の御発展をお喜び申し上げます。

さて、我々の学友会岡山県支部も発足以来満三年を迎えさせていた、だく事が出来ました。発足時は、本部の役員の方々にお世話になりただ右も左も解からぬままやってまいりましたが、今年で三年という事でどうか支部運営も軌道に乗せることが出来たと自負いたしております。それは一重に、本部役員の方々、支部役員の方々の御助力の賜物だと感謝致しております。支部作りを通じて、仕事以外の数多くの人達と知り会え又、友好を深める事が出来たいへん嬉しく思っています。

現在の活動状況ですが、当初目

標に掲げた活発で明るい支部づくりですが、当面一回の総会・同窓会を開催することで、事前の役員会・打ち合わせ会を数回行なっている状態です。本当はもう少しいろいろな催しを企画したいのですが、私を含め皆様たいへん忙しく又、休日出勤に重なるという点ともありなかなか実行に移せないというのが現状であり今後の課題の一つでもあります。次に会員相互の親睦を図り末長く存続させていきたいですが、これは、同級生はもとより先輩、後輩関係なく皆和気あいあいとした雰囲気下同窓会も盛り上がりそれ以後もお互い連絡を取り合っている現状です。



最後に母校のP・Rならびに在学生、後輩への良きアドバイザーができればと、母校への入学希望者の斡旋、昨年初の試みとして同

窓会へ在学生を招待しました。これにより在学生に対しても当地の自動車業界の生の声を聞かせることが出来多少なりとも勉強になったのではと思っています。

今年の同窓会も八月二十三日(月)午前十一時岡山ターミナルホテルにて開催を予定しております。支部会員の皆様には、御案内状を送らせていただきますので皆様お誘い合わせの上御出席下さいませ。様お願い致します。そして現在まで都合上御出席出来なかつた方は非とも一度御出席下さいませ様併わせてお願い申し上げます。

岐阜県支部 設立に向けて

第一期卒業生 水野和一

岐阜県の中にある東濃地区、大学がある坂祝よりも長野県よりになり、大学まで車で約二時間程と言う地域です。

大学も今年で創設二十年、ようやく大人の仲間入り、成人式を迎える年となりました。

私達、東濃人は卒業時から毎年のように年に一回集まって一期生を中心に十名程度で近況を語る会を開いていました。今年は大学

の成人式と言うこともあり、この会を広げて東濃地方出身者全員に呼びかけ、組織化したらどうかと思っていました。

そして、八月二日(日)に岐阜県東濃地区同窓会を開催することとなりました。東濃地方出身者は昨年度まで約百三十名程になります。この開催計画をもって、大学を訪ねたのが六月二十日でした。近くに住みながら、なかなか訪ねる機会がなく、ご無沙汰をしておりました。具体的な施設や計画を大学にいる一期生の仲間に説明されるうちに、すばらしい成長ぶりに感心しました。

特に「高等教育の国際化」ということで、留学生の姿が見られたこと。「特色ある高等教育機関」にふさわしい、車体整備コース・電子機械コース、全国でも唯一と言われる各コースがカリキュラム化されていること。最後に「開かれた高等教育機関」今や生涯教育がさけられている時代です。

多くの卒業生が一生を通して勉強できる大学、この卒業生を取りまく多くの人達の勉強の場・交流の場として中日本自動車短大がそういう場にふさわしい環境や人づくりをこれから卒業生全員が考え

ていかなければならないと思います。

成人式を迎えた大学が、立派な大人になるよう期待すると共に、少しでも力になれる卒業生になればと思います。

この記事をOB諸兄が読まれている頃は東濃人会も盛大に開催された後になりますが、一步一步輪を大きくし、岐阜県支部設立の第一歩になればと思います。岐阜県支部設立に向けて御賛同頂けるOB諸兄は左記に御一報願います。

岐阜県東濃支部設立準備委員会
发起人 水野和一
千五〇九五一

土岐市泉中窯町一丁目五番地
岐阜県土岐市立泉小学校内

☎(〇五七)二五四一二九五

大学祭の案内

始めまして、私くは、第二十一回、中日本自動車短期大学大学祭実行委員長の有木裕之です。

大学祭(自短祭)も今年で二十一回目を迎える事になりました。これも一重に、OB諸兄が積み重ねてこられた努力と実績の賜ものだと、在学生一同確信致しております。でも残念ながら自短祭は、

毎年盛り上りに欠けているのではないかとOB諸兄、諸先生方に聞かされてまいりました。そして昨年の第二十回自短祭も各種イベントへの参加者数を見ていたら例外ではなかったように思われます。

しかし、プロコンサートにおいては、良い歌手(浜田麻里さん)に巡り会えたこともあって、本学の体育館には、もうこれ以上人が入り切れないというほどたくさんのお客様に来て頂き、開演中は終始場内熱気ムンムンで最高に盛り上がりました。今年も皆様の御期待に添える様、現在歌手選定中です。

今年の自短祭を活気のあるものにするために昨年のプロコンサートの熱気を、今年のコンサートはもとより各種イベント・模擬店に移行できるよう大学祭実行委員はもとより、各クラブ、同好会、県人会……とみんなで手を取り合っで助け合い創り上げていくため今回のテーマを『お手手つないで』と決めて元張っているところです。なお、自短祭二日目の日程に、創立二十周年記念講演を学校側に開催していただくなど、学校側からのバックアップもありますのでOBの皆様、御多忙中恐縮とは存

第21回中日本自動車短期大学
自短祭日程表
10月16日(金)～19日(月)

16日(金)	☆開会式 ☆前夜祭 ☆仕掛花火
17日(土)	☆プロコンサート(聖飢魔II)
18日(日)	☆演武会
19日(月)	☆体育祭 ☆後夜祭 ☆閉会式

じますが『母校が、創立二十周年を向えたさうだ。』というのを御来場の話の種にされて、先輩・後輩・同輩お誘い合わせの上思い出多きこのキャンパスには是非とも御足を向けて頂きたくお願い申し上げます。

OBの皆様御来場を在学生一同心よりお待ちしております。御来場の際には、精一杯の歓迎をさせて頂くとともに、後輩の指導という事で、良き所は誉め、悪き所は叱って頂けるならば幸いです。

最後になりましたが、自短祭成功のために私のつたない文章を載せていただく機会を与えて下さった学友会事務局の方々に心より御礼申し上げます。OB諸兄の御活躍、御多幸をお祈り申し上げます。

会員名簿のお知らせ

お知らせ

中日本自動車短期大学学友会は昭和五十七年、十五期までの総合名簿を完成し、昭和五十八年より昭和六十年まで毎年三月に単期名簿を作成し、OB諸兄には先輩・後輩・同期の学友との連絡などにご活用いただいております。

名簿作成委員会では、毎年より良いものにするため昨年三月よりコンピュータを導入し、名簿を整備してきました。

昭和五十七年に総合名簿が完成して以来、数年が経過し住所、勤務先等に変更があったOB諸兄も数多く、会報等の発送には名簿を使用しておりますが、毎年相当数が宛先不明として返送されてきます。今年には開学二十周年を迎えこれを記念し昭和六十三年三月末に再整備した総合名簿を発刊する予定です。住所、勤務先等に変更があったOB諸兄は事務局までご連絡下さいます様お願いします。

(連絡先)
岐阜県加茂郡坂祝町深萱一三〇一
中日本自動車短期大学
学友会事務局
☎(〇五七四)二六七一二二

代議員総会のお知らせ

昭和六十二年年度の代議員総会が左記にて行われます。

各役員・代議員・支部長は、かならずご出席下さいますようお願い致します。

また、代議員総会には、一般会員(卒業生)のオブザーバー参加も可能です。是非ともご参加下さいますようご案内致します。

記

名称

中日本自動車短期大学 学友会

昭和六十二年年度 代議員総会

日時

昭和六十二年九月二十七日(日)

十三時～十五時

議題 一、昭和六十一年度事業報告

二、

〃 会計報告

三、昭和六十一年度事業計画

四、その他

会場

安保ビル会議室

名古屋市中村区名駅

三十五一九(名駅前)

☎(〇五)五六一一九八三二



同窓会について

すでにOB諸兄もご存知のように、母校では開学二十周年に当り、さまざまな記念行事が計画され、また遂行されています。施設面だけをとらえてみても、校舎・グラウンド・敬愛寮・駐車場と新しくなり、現在では新実習棟の建設が進んでいます。ここ数年の母校の姿貌よりは、目を見張るばかりです。

こうした中で、学友会としてもしばらく開催を見合わせていた同窓会を、母校の二十周年に合わせたいと考えておりますが、日程について、各行事に合わせる・建設中の工事が完了した時に合わせる等、多くの意見があり、未だ開催要領が決定していません。これらについては、来る九月二十七日の代議員総会で決められます。いずれにしても前向きに検討し、この機に盛大に同窓会を行う予定です。

同窓会開催要領が決まりました折には、卒業生各位にご案内を送付致しますので、多数ご参加下さいますよう、この紙面を借りてお願い申し上げます。

学友会

事務局

編集後記

本年は、開学二十周年という記念すべき年であります。二十周年記念事業としての計画も着々と進んでいます。その一環として新教育棟に続き新実習棟も新築工事が進行し、六十四年度中には完成の運びとなります。また、本年は広島カープの衣笠選手が連続出場世界一を達成した年でもあり、あの国民の憧れの石原裕次郎が亡くなるなど日本が喜び、悲しんだ変化の多い年でもありました。

来年度には『ぎふ未来博』も行なわれ会員の皆様も岐阜に来る機ができることと思われます。その折には、ぜひお立ち寄り下さい。

編集担当者もマンネリ化しつつある会報をより会員の皆様に飲んで読んでいただける内容にしたいと頑元張ってまいります。

○ 母校より、二十周年記念事業の寄付金依頼に関する書面が同封されています。学友会としても卒業生のみならずから御協力いただきますようお願い申し上げます。

尚、お問い合わせは、母校総務課へ連絡願います。